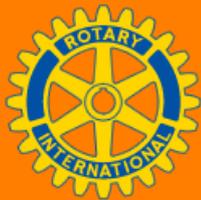


安城ロータリークラブ



週報

【 No.575 2013/1 第 2 例会 】

例会日: 毎週金曜日

例会場: 碧海信用金庫本店 3F

安城市御幸本町 15-1

TEL: 0566-75-8866

FAX: 0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP: <http://www.anjo-rc.org>

第 2716 回例会

2013 年 1 月 18 日(金) 12:30~13:30

司会者: 近藤裕保君

ソング: 「手に手つないで」「四つのテスト」斉唱

卓上花: ミンスプレーカーネーション・梅

ゲスト: 安城市スカウト連絡協議会副会長 杉浦静子様

ビジター: 同前仁史君(岡崎RC)

2012-2013 年度 RI テーマ:

Peace Through Service 「奉仕を通じて 平和を」

クラブテーマ:

親睦から奉仕へ。そして奉仕を通じて平和を。

■会長: 大見 宏

■幹事: 石川 義典

■クラブ会報: 成田孝則・松本隆利・青山竜也

■創立日: S33 年 1 月 10 日

■RI 加盟認証日: S33 年 2 月 6 日



■会長挨拶

大見 宏会長

《あいさつ》

< 創立 55 周年記念式典まであと 22 日 >

皆さん今日は、いよいよ創立 55 周年記念式典・記念例会まであと 3 週間となりました、今日も実行委員会が開かれました。後程、実行委員長から報告をして頂きますので宜しくお願いします。

最近体罰の問題が出ておりますので教育委員会の話を少しさせていただきます。

大阪市の体罰の対応ですが、橋下市長が、桜宮高校の入試を中止すると、これに対し大阪市教育委員会は検討中でありますがけれども中止には踏み切れないのではないかと思います。

実際に、桜宮高校に入りたいと考えて一生懸命勉強している受験生の存在は無視できない。もう一つ今日も新聞に出ていましたけれども、橋下市長は顧問の教員を総入れ替えをしなければ予算を執行しないとありました。これは今の教育委員会の問題点、改革と言っておりますが、この問題が浮き彫りになっているのではないかと私は思います。即ち、この教育というもの、首長部局に組入れる改革案が出ておりますが、こういった市長の思いつきで教育が左右されてしまう危険性があるということです。もう一つ、政治が直接教育に影響する可能性が出てくるという事です。

今、こういう虐め体罰問題がおきている教育委員会を改革してきた定義を廃止して「市長が全部統括するんだ」という考え方がありますが、市長の一言で全部決まってしまう、これは「市長は民主的なプロセスを得て選挙で選ばれたからいいんだ」という考え方もありますが本当にそれでいいのか、という問題があるという事を皆さんに理解して頂きたいと思ひます。

《会長報告》

1月11日 理事会

・仙台空港モニュメントの件

・国際奉仕委員会 カンボジア井戸掘削の件

・55周年記念事業の件

・「子育てに悩む親に対する援助規則」

1月18日 創立55周年記念行事実行委員会

《同好会情報》

観劇同好会 平成25年4月6日、7日

「金比羅歌舞伎鑑賞ツアー」



《老若男女の法律豆知識》

<教育委員会とは>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編成、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理しこれを執行する「独立行政委員会」(地方自治法第180条の8)。

<独立行政委員会であること>

「独立」とは、首長や議会から独立し、中立的・専門的立場から行政事務を管理執行すること。

いわゆる権力分立の原理からくるもの公安委員会、選挙管理委員会「教育」は「政治的に中立」でなければならない。

<「非常勤」の教育委員>

5名の教育委員のうち、教育長を除く4名は非常勤。

市民代表(教育・文化に識見を有する者)が教育機関をコントロールする制度であるから、常勤ではない。

常勤化することで地方公共団体から支給される給与により支配されることを防ぐ意味がある。

<大阪市の体罰問題対応>

- ・市長は入試の中止、教育委員会は？
- ・市長は顧問の教員総入れ替をしなければ予算執行をしないと声明。
- ・教育委員会改革の問題点浮き彫り

教育を首長部局に組み入れることは首長の思いつきで教育が左右される危険性。政治が教育に直接影響する危険性あり。

■ 幹事報告

石川義典君

- ・安城スカウト連絡協議会へ助成金贈呈いたします。
 - ・第3回クラブアッセンブリーを例会終了後に行います。
 - ・下半期の会費とインターシティーミーティング登録料を合わせて集金いたします。
 - ・2/16(土)
- IM時のバス乗車場所の確認をいたします。
- ・3/2(土)~5(火)
- 国際奉仕事業・カンボジア井戸掘削及び視察のご案内を配布しました。
- ・6/21(金)~27(木)
- リスボン国際大会のスケジュールを配布いたしました。
- ・半期報告いたします。



■ 出席報告

小野田真代君

■ ニコボックス報告

小野内直行君

本日のニコボックスメッセージの紹介

| | |
|----------|-----------------------|
| 会員 | 59名 |
| 出席義務者 | 48名 |
| 出席 | 41名 |
| 欠席 | 7名 |
| 出席免除者の出席 | 9名 |
| 出席率 | 87.72% |
| 修正出席率 | 12月23日 第2714回 100% |



《安城スカウト連絡協議会へ助成金贈呈》

安城市スカウト連絡協議会副会長 杉浦静子様

毎年、助成金を頂いております、安城市スカウト連絡協議会副会長の杉浦静子でございます。

安城市スカウト連絡協議会は、安城市内にある6師団のボーイスカウトと2師団のガールズスカウトとの連絡協議会となっております。以前は6団あったのが2つになってしまっていて、少しずつ減っておりますが、今いる会員たちは頑張っていて一人でも二人でも多くのスカウト達を育てて行きたいと日々思っております。そして毎年頂く助成金を有意義に使わせて頂いております。ありがとうございました。

《創立55周年記念行事実行委員長 竹内通裕君》

55周年の記念事業として、何をやっているのかをご理解を頂きたいと思えます。

1. 本日お配りしました「子育てに悩む親に対する援助規則」につきまして、当クラブとして55周年記念事業にどのようなことが出来るかという事で新世代奉仕委員会と実行委員会の方で検討して来ました結果、このように子育てに悩む親、要するに児童虐待の連鎖を防ぐように、親を何とか立ち直る援助をさせて頂けたらどうかという制度を設けて刈谷児童相談所さんと相談しまして、こういったもの作成致しまして、理事会で承認を得たと援助制度でございますけれども、どのような方と申しますと、児童虐待をしてしまってその後なんとか家庭を再興したいと思う親に対して、費用の面で援助、カウンセリングを受ける際の費用を援助して行くということでございます。これにつきましては、刈谷児童相談所と相談しながら安城ロータリーの理事会で審査をしながら対象者を決めさせて頂きたいと思えます。援助の金額につきましては、年間10万円を限度とし、これにつきましては児童虐待がなかなか無くならな現状でございますが、安城ロータリーとしても、支援しながら虐待問題が少しでもなくなるような形で勧めて行きたいと思えます。

2. 東日本復興支援ということで、これは、昨年11月10日と11日、安城ロータリー有志の方で石巻市また女川町とうどんの炊き出しをしてまいりました。まだまだ復興途中でございましたけれどもそう言った方々に対してうどん等が提供できました。

3. 職業奉仕の顕彰、八千代病院さんと安城厚生病院さんの看護師長さんを例会当日に職業奉仕貢献者として金一封を添えて表彰したいと思っております。それから国際奉仕でございますが、昨年行いましたカンボジアへの井戸の寄贈ということで今現在進めております、たぶん今月中には終わるということで井戸を贈呈する事です。ロータリー財団への寄付、先週にはベネファクターの方6名の方がなって頂きましたこれも事業として挙げさせて頂く。記念例会ということで資料があったと思えますけれども、2月9日当日はこのような例会次第に沿って記念例会・記念講演会・記念祝賀会という形で進めてまいりますので皆様方のご協力をお願い致します。

《写真同好会 勝見乙平君》

本年度第1回目の写真の展示会を例によりまして碧海信用金庫本店1階のブースをお借りして飾り付けを済ませましていまから1か月飾らせて頂くことになりました。今回去年撮りました紅葉が主体となっております。お暇がございましたら是非お目直しをお願い致します。



石川 博君（昭和28年生まれ）

「勤行・五経・十巻・十二支」でいいますと60年で一つの周期が来るということで、不肖私も60年の周期がまいりました。

本当は、上中下とありますね、上限中限下限本当は180年の周期が動いてい訳であります。ですから私は序の口のちようど1周回ったところでございまして、あと120年をどうゆう風に生きようかなと真剣に考えはおりせん。

あとは少し位かなと思いますが、いろいろ考えていますと、私も今ここで年男放談をさせて頂くのは2回目なのですが、前回は何を言ったかも覚えていないのですが、改めて、私の生まれた年は昭和28年でございます。

世の中が終戦後少し落ち着きかけた年でございまして、テレビもこの年から放映されております。生まれた時のことは何も覚えておりません。

12歳になりますと、私は勉強はあまり好きではなかったのですが、塾の先生が私の親に「この子は塾に来るとみんなの迷惑になるのでもうこないでほしい」と言いに来たそうです。

それで母親も父親も困って家庭教師をつけました。その家庭教師の先生も「この子はだめだね」と言われた事を覚えております。私はその時に弟が生まれまして、数年前から弟が欲しい欲しいと言っておりまして、2つ下の弟が亡くなっておりますのでもう一度、弟が欲しいと両親にせがみまして、その年に弟が生まれました。

それからオリンピックがあったり、新幹線が開通したりとか色んなことで新幹線も当時を覚えておりまして、とにかく新幹線が通って行くこと数えるんです。当時は12両編成だったのですが今は16両編成です（4両増えました）そういう事が、ずいぶん昔のことは皆さん知らないんですね。今の人は新幹線は16両と言います。調べて最近分かったことです。

そして、ケネディ大統領が暗殺されました。とにかく大変な時だったなということ覚えております。それから、さらに12年過ぎると24歳になりまして、その時は一生懸命仕事をしておりまして、それから子供も生まれまして、いま孫が5人生まれましたが、子供の小さい時は大変でした。私の家内が当時看護婦をしておりまして、夜勤もありますので私が夜中に起きてミルクを飲ませたりとかしておりました。

そういう事をしておる事を長女は覚えてまして、今になって「私はお母さんに可愛がられていない」と言う事を言い出しました。「そんなことはない同じだよと言ったのですが」いつもお父さんが一緒と言い、今、親子関係がそんな具合で、「母親が今更そんな事を言われても困る」と怒っている。そんなこともありました。

それから12年経つと36歳ですけども、私は30歳位から町内のフットベースの監督をやってまして、町内との関わりが出てきて、町内に「民生委員」と言うのがありますがそういうのをやって頂きたいとお話がありました。

それから徐々に町内との関わりが出て来まして、いろいろな事をやって、平成10年頃に民生委員をやめて町内会長をやってそれが終わったら今度は平成12年頃ですが今度は保護司をやらせて頂きました。

ずっと町内には関わりがありまして、今は町内の顧問と言う席を頂いております。

そして12年経つと48歳、私にとっては思い出深い年でありまして、私は家庭教師をつけて頂いてあまり勉強ができなくて、父親は「なんでお前は家庭教師をつけても一番になれないんだ」とよく言っていました。

だけどそういう事を言われると余計勉強したくないのでいやだなと思っていたのですが、私の父は陸軍の航空士官学校と言う所へ行っていて、いつも小さい時から、飛行機の話ばかりしていたので、戦友が来ては、一杯飲みながらそういう話をしていたので、僕もいつの日か大空を憧れるようになりました。「将来僕もパイロットになりたいな」という夢がありまして、少し勉強したのですが、父親が14歳で倒れまして、15歳で突然死をしました。

それで全然自分の目指してた道と違う方へ進みまして、現在建築の設計をしています。しかし40歳の時に一念発起をしまして、どうしてもパイロットになりたいと茨城県にある飛行学校へ通いました。

8年経ってライセンスを取得しました。金・土・日と東京へ通うわけですけども、本当に大変な思いで取りました。

ライセンスを取っただけでは乗れませんので今度は航空特殊無線技士という資格を取らなければなりません。これも、アルファベットでAはアルファBブラボーCはチャーリー全部暗号みたいなもので覚えました。

とにかくそれを覚えるのは簡単には覚えられません。送信受信するのですが、管制塔と話をする時に使います。JAの機体番号が書いてあるJAは農協ではなくジャパンエアーですね。これをジュリエットアッパーと言うんですね。そういう言い方をするのに時間がかかりましたけれども、東京で関東総合通信局国家試験を受けたのですが、私が最年長者でした。

若い人ばかりで、学科試験と面接、実技があるのですがなかなかこれも大変だったのですけど何とか取得できまして、どうしてもやろうと決めて8年掛かったのはちよっと時間がかかったなと思いました。

お金も使いましたし、時間を作るのも大変でした。とにかく無我夢中で親父が亡くなってからは走ってきましたので「ボランティアをやろう」とボランティアに興味がありまして50歳になったらやろうとNPO法人も2つ立ち上げたりとかしていましたが、もう少し大きい、青少年の健全育成とか、そういうことをやっていこうとしていた矢先に、東日本大震災がありました。これで自分のやりたいことが少しずつ狂ってきたのですけども、狂ってきたというより、これが私の使命だなと思ってます。

長い人生ですので、4年5年7年位になるかも知れませんが、それぐらいは自分の生活をおいても、人のためになってもいいんじゃないかなと、やるべきじゃないかなと思います。まだ2年1ヶ月しかやっておりませんが、引き続き体の続く限りはやらせて頂こうかなと思います。

私の家内が毎週金土日と最初の頃いましてので寂しい、不安だと、そういう時に自分だけ残されたらどうなるのかと、色々考えた末家内も連れて行くこと決めました、昨日の夜の話ですが、「今度行こうか」と聞くと「ちょっとえらいから今度はやめとく」と言っていたので今度は置いて行こうと思いますが、とにかくいろいろなロータリアンの方々にもご協力を頂きながら行ってます。

ロータリーに入らせて頂いて13年になりますが、ロータリーというところは本当にいいところで、ほとんど自分の思う通りにならない、いろいろな意見を皆さんから頂いて成長して行く、私は勝見先生に色々な事を教えて頂いて、ご指導頂くのですが、「超私の奉仕賞」の事も先生に相談をして「ご辞退したい」と言ったこともあるのですが、先生から手紙が来まして、「とんでもない、そんな事を言っちゃいけない」と一蹴されました。

これはやはり安城RC惹いては地区の名誉になる事ですし「こうゆうものは謹んで頂くものだ」とお叱りの言葉を頂きました。私も超私の奉仕賞も知りませんでしたので、調べてみたのですが、地区内では13年～14年ぶりで愛知県内では4人目だそうです。ガバナー月信に出ているのですが、もう少し調べてみて、20年間の受賞者が全部書いてありました、それを調べると日本では、1回だけは10人受賞されていました。

今のRI会長の田中作次さんも1998年に受賞されていました。私はそれを見てとんでもないすごい賞なんだなと感じています。勝見先生から前回の時に「空前絶後だ」と言われましたけれど、本当にすごいことだなと言う心境であります。

ロータリアンの精神の名に恥じないような行動を今後は益々して行かなければならないなと思っております。皆さん、ロータリーに入会されたからにはご自分を磨いてください。ロータリーにメリットを求めないでください。自分で磨いてください。

話は戻りますが、次の12年は72歳になるのですが、どういう自分に合うのかわかりませんが、とにかく目の前にある事を誠意をもってとにかく一生懸命進んで行く事が大事かと思っております。

私は大きなビジョンはありません。ただ目の前の事を大事にして行くだけで不器用な人間ですが、今後も皆さんのご指導を頂きながら頑張って紳士となれるよう磨いて参りたいと思いますのでご指導を宜しく申し上げて年男放談とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

新田高広君(昭和40年生まれ)

年男放談ということですが、私は昭和40年8月5日生まれの巳年になります。

生まれた年を入ると5回目の年男になります。

ところで、今日為替が90円に入り株式が上昇して最近景気の方が上向きになって来たと思いませんか？

職業柄どうしても経済状況や株式・為替の動きが気になります。

2013年の干支と株式市場はどのようなのか、過去の巳年について出来事や歴史について調べてみました。

ちなみに昨年の辰年相場は前半上昇の兆しがありましたが、途中は鳴かず飛ばずの中、年末にかけてようやく眠りから覚め、急上昇し「昇り竜」になってきました。

【過去に見る「巳年」の出来事】

過去の巳年はどんな事があったか、主な歴史的出来事を調べてみました。

1869年・144年前(明治2年)東京遷都・明治天皇東京に到着(5月)
1881年・132年前(明治14年)国会開設の詔勅(10月)
1893年・120年前(明治26年)米国で金融恐慌(5月)
1905年・108年前(明治38年)日露戦争で日本海海戦勝利(5月)
1917年・96年前(大正6年)ロシア革命(10月)でソビエト政権樹立
1929年・84年前(昭和4年)世界恐慌の発端「米暗黒の木曜日」(10月)
1941年・72年前(昭和16年)太平洋戦争勃発・真珠湾奇襲(12月)
1953年・60年前(昭和28年)スターリン死亡でスターリン暴落(3月)
1965年・48年前(昭和40年)五輪景気後の証券不況 山一証券の日銀特融(5月)
1977年・36年前(昭和52年)日米貿易摩擦と円相場の急落 ロッキード事件(11月)
1989年・24年前(平成1年)ベルリンの壁崩壊(11月) バブル経済ピーク・株価 38,915円の市場最高値(12月)
2001年・12年前(平成13年)米同時多発テロ(9月) 日銀量的緩和政策導入(3月) 小泉内閣スタート(4月)

こうしてみると、それぞれの時代の転換点が「巳年」に訪れているのは興味深いところだと思います。

【過去に見る「巳年」の株式相場】

過去の巳年の株式相場を見ると、

- ・古くは「暗黒の木曜日」と呼ばれたNY株式の大暴落(1929年)
- ・ソ連の最高指導者の死亡に伴う「スターリン・ショック(1953年)」 日経平均の年間騰落率+4.2%
- ・オリンピック景気の後、大量の投信の解約に伴う「40年証券不況」(1965年) 日経平均の年間騰落率+16.5%
- ・日米貿易摩擦と円相場の急騰(1977年) 日経平均の年間騰落率-2.5%
- ・土地・株価の急騰に伴う「資産インフレ相場」(1989年) 年間騰落率+2.9%
- ・米同時多発テロ(2001年) 日経平均の年間騰落率-23.5%

など、歴史に残るドラマチックな相場が演じられているような印象がします。

注目する点はその年の転換点になっており、今回の2013年の相場を占う上でも転換点の再来となるか注目したいと思います

ちなみに、戦後(東証開所来)に見ると「巳」年の日経平均の騰落率は

平均で4.7%と干支の12支の中で上昇ランキングは9位となっています。

巳年の語源のヘビは「再来・不死身のシンボル」といわれWHO(世界保健機構)のマークになっています。

また、古来よりヘビは「商業・蓄財の神」としてよく取り上げられている。

過去の巳年相場は天井圏、底値圏と極めて波乱の展開となっています。

これを言い換えると「高きを売り、安きを買う」といった株式投資の基本的原則の教えに従えば、巳年がビジネスチャンスに満ちた年ともいえます。

巳年の巳(み)は「みのる」実(み)にも通じる意味あるということのため、2013年の巳年相場は冬に実の種を蒔いておけば、春には花が咲くということが言えるかもしれません。

最後に、ニーチェの言葉に「脱皮しないヘビは破滅する」という言葉があります。

人間も全く同じで、古い考えの皮をいつまでもかぶっていれば、やがて内側から腐っていき、成長することができないどころか死んでしまいます。

常に新しく生きていくために、私たちは考えを新陳代謝させて行かなくてはならないです。

今年はドラマチックな巳年です。今後、自分自身が脱皮し続け、考えを新陳代謝させながら前向きに頑張っていこうと思っております。